

地方衰退は止めれるのか？

愛知学院大学 三好ゼミ

目次

(1) 研究背景

(2) 地方創生の重要性

(3) 一極集中化の原因とは？

(4) 若者を呼び込むためには？

(5) 「経済活性化」の戦略

(6) まとめ & 参考文献

(1) 研究背景

研究背景

「少子高齢化」が進む中、若者の大都市への流出で、**地方は確実に「消滅」**へと歩みを進めている

なぜ東京へ人が流れてしまうのか？

地方が再び賑わいを取り戻すことはできるのか？

などの疑問が生まれた

研究目的

「人口」に着目

東京一極集中化の原因を分析

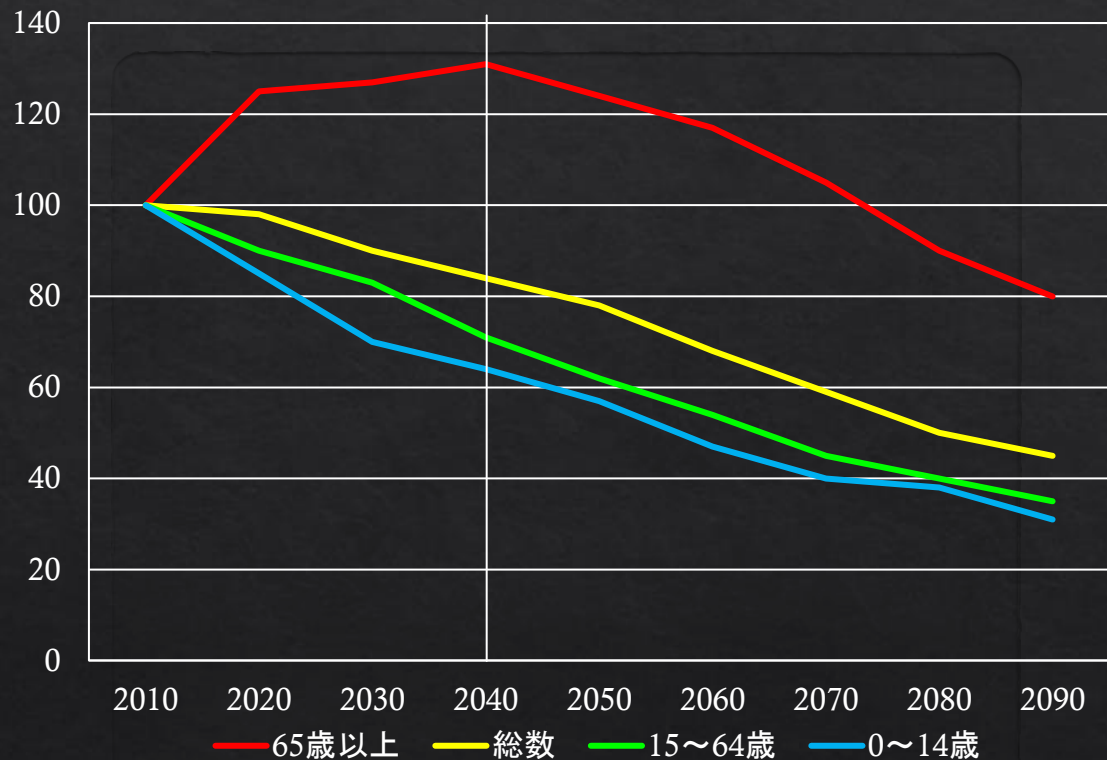
人を呼び込む・経済発展の戦略

地方創生への道筋を明らかにする

(2) 地方創生の重要性

日本の現状・未来 (人口)

将来人口動向:「三つの減少段階」



◇「少子高齢化社会」の到来

◇ 2040年を境に、
急激に進む人口減少



日本は「人口減少社会」の中

(備考)
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」
(平成24年1月推計)より作成



実は「**地方の衰退**」
が関係している

ふたつの人口減少要因 (地方)

①出生率低下による少子化 (自然減)

②人口流出 (社会減)

都会への流出が招くこと

◇ 子育てにおいて親の支援が受けにくい

・・・子育て環境には向かない

◇ 隣近所の付き合いが希薄



◇ 出生率は低くなり、日本全体の人口減少を招く

(今後も流出が続くと予想される...)

もし人口移動が収束しなかったら？

- ◇ 高密度の中で生活する「極点社会」が到来

(問題点)

- ◇ 少子化対策の財源に限界があり、出生率の大幅な向上は見込めない
- ◇ 経済変動に弱い「単一的構造」が構築されてしまう
- ◇ 首都圏の被災が日本全体の麻痺に

⇒ 地方衰退は**日本全体**に関わる問題である

(3) 一極集中化の原因とは？

過去の移動から分析

①高度経済成長期 (1960～1970)・・・若者の都会への集団就職

②バブル期 (1980～1993)・・・都会のサービス業、金融業の成長

③2000年以降・・・地方の経済、雇用環境の悪化

考えられる主な原因



労働賃金が低いなどの
「所得格差」



やりたい仕事がないなどの
「雇用情勢」



仕事を求めて上京
(若者を中心に)

若者の重要性

若者は「**人口再生産能力**」を持つ

若者を失う＝人口減少

出生率向上のためにも若者の存在が必要



「**若者の流出**」を止めること＝「**少子化対策**」

⇒ 若者に魅力があるまちづくり (雇用の場の確保)

(4) 若者を呼び込むためには？

若者が移動するタイミング

①大学や専門学校などへの「入学」

②最初の「就職」

- これらの時期を人を呼び込む好機として捉え、対策を考える

「入学」

- ◇ インターネットの活用で東京の大学と同じ学位を取得できるように
- ◇ 大学や研究機関を地方に誘致し、機能強化を図る
- ◇ 研究組織などを育成することは有能な若者を集めるうえで有効



- ◇ 地方自治体などによる地方大学への投資が円滑にできる制度構築を

「就職」

- ◇ 地元企業に就職した若者に**所得支援**を行う
- ◇ **異業種間での交流**ができるコミュニティを形成し、**狭い人間関係を解消**

子育て世帯への支援

- ◇ 公立学校で塾と同じような教育を提供する (塾がなくてもOK)
- ◇ 「保育サービス付き住宅」で安く居住
- ◇ 少年期に農作業体験を通じて、地方の農山漁村に興味をもってもらう

⇒ 様々な支援をする必要がある

(5)「経済活性化」の戦略

地方経済に活気を出すには？

イベントをたくさん開催して
集客をする？

政府からの交付金をたくさん
もらう？

イベント開催は活性化になるのか？

政府補助金

- ・最終的に**お金は都市へ**流れていく



(お金の流れ)

地方物産イベント

- ・飽くまでも**認知向上**の手段



主要都市の大手代理店

- ・一発逆転の事業ではなく、**恒常的に黒字経営**できる事業を

⇒ 活性化とは地方が自力で**お金を稼ぐこと**

サプライチェーンを長く持つ

◇ 商店街はものを売るサプライチェーンの末端

→ 人の移動が多くなった現代、伝統的な商店街の存在は終わる

◇ 垂直統合型ビジネス(全て自社で行う)で利幅を増やすか、ターゲットを絞り込んだマーケティングをする



「珍しさ」や「利便性」で競争力がつくことも

民間企業の重要性

- ◇ 営利を目的とした民間企業なら成長が見込める
- ◇ 独立心を持ったリーダーの存在が人を動かす
- ◇ 地域内で経済を回すのがベスト (民間の資金と商品・サービスで回す)

地方と都市の格差をなくすには？

- ◇ 公共サービスが整備されることの便益が最終的には「**地価の上昇**」になる
- ◇ 生産性を上げるための投資を今から行う
- ◇ 公共投資を**儲かること**に行う (ハコモノばかりに使われてしまっている)



- ◇ 質の高い公共サービス提供のために、「**行政**」と「**民間**」の**連携**が重要

活性化のカギ

全国どこにでもあるような街にしない

わざわざ旅費を出しても行きたくなるような場所

地域の特徴を活かしてオリジナリティを生み出す

「生活 or 観光」どちらの街か明確に

- ◇ 「農林水産業」などの地形を活かした産業で人の呼び込み・定住につなげる
- ◇ 「昔からあるもの」を活かして観光産業を興す
- ◇ 外国人などの「外部の眼」によって地元の魅力が浮き彫りになる



地元の「熱意と柔軟な思考」が必要

⇒ 生き残るには、自ら努力する必要がある

(6) まとめ & 参考文献

まとめ

- ・地方衰退は**日本全体**に関わる問題
- ・一極集中化には**雇用問題**が関係している
- ・出生率向上には**若者**がカギ（**魅了**して地方へ誘致）
- ・**地元の特徴**を活かし、**オリジナリティ**を生み出すことが魅力につながる

参考文献

- ◇ 増田寛也 (2014)「地方消滅—東京—極集中が招く人口減少」 中央公論新社
- ◇ 飯田泰之 (2016)「地域再生の失敗学」 光文社

ご清聴ありがとうございました